

リーディングDXスクール事業【実践事例】

奈良市立鼓阪小学校（奈良県）【指定校】

【取組内容】 振り返りで深める児童の自己認識

【個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実】

本校では、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し、個々の児童が自らの学びの状況を客観的に把握できる力を大切にしている。

そこで、日々の授業において学び方や学びの状況に視点をおきながら振り返りを入力する取組を進めている。また、子どもたちは振り返り記入シートを共有しておくことで友達の記入内容がわかり、友達の内容を参考にしながら自分の文章の推敲をしている。

子どもたちに振り返りシートを通じて自分の学びの状況を客観視させ、自分の状況に応じて課題や問題を選択させる。

また、児童の状況は多様なため、各学年に応じた方法でクラス内の友達の状況を把握できるようにし、自然と友達に聞きに行ったり、一緒に活動したりする場面を増やしていく。



【児童と教員の様子】

児童が学びの振り返りを継続していくことで、児童の自己理解につながるだけでなく、教員による児童理解もめることができた。そのことにより、児童への声掛けも具体的になり教員と児童や児童相互の学びが深まってきた。